



ABC Study ケースカードⅡ (1年時)

ABC No. A _____ イニシャル (名・姓) _____

心血管事故・糖尿病薬変更等のイベント:

あり (未記入の場合、イベントカードをご記入下さい) なし

投薬内容

ボグリボース 0.6mg/day 変更 _____ mg/day (理由: 消化器症状 その他 _____)
内服コンプライアンス (平均服用率: 患者様への問診より、推定してください)
 100-80% 80-60% 60-40% 40-20% 20%以下

糖尿病関係追加薬剤: アマリール オイグルコン (ダオニール) グリミクロン
 その他: _____ 投与量 _____ mg

ACE: インヒベース エースコール コバシル タナトリル レニベース
 プレラン その他: _____ 投与量 _____ mg

ARB: ディオバン ニューロタン プロプレス オルメテック ミカルディス
投与量 _____ mg

抗高脂血症薬: メバロチン リピトール リポバス ローコール ベザトール
 その他: _____ 投与量 _____ mg

Ca blocker: アダラート カルブロク コニール ノルバスク ヘルベッサ
 その他: _____ 投与量 _____ mg

β blocker: アーチスト ケルロング セレクトール セロケン メインテート
 その他: _____ 投与量 _____ mg

利尿剤: アルダクトンA ダイアート ラシックス ルブラック その他: _____
投与量 _____ mg _____ mg _____ mg _____ mg _____ mg

抗血小板薬: バイアスピリン バファリン パナルジン プレタール その他: _____
投与量 _____ mg _____ mg _____ mg _____ mg _____ mg

抗凝固薬: ワーファリン 投与量 _____ mg

血管拡張薬: アイトロール ニトロール ニトロダーム フランドル
 その他: _____ 投与量 _____ mg

抗潰瘍薬: ガスター ザンタック タケプロン
 その他: _____ 投与量 _____ mg

アデノシン増強薬: ペルサンチン 投与量 _____ mg

K_{ATP} チャンネル開口薬: シグマート 投与量 _____ mg

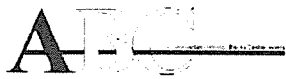
その他の投薬: (心血管病薬以外も)



臨床研究支援センター

〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町 1-4-1-9F

TEL: 06-6836-0077 FAX: 06-6836-5211 HP: <http://www.csscj.com>



ABC Study ケースカードⅢ (1) (2年時)

ABC No. A _____ イニシャル (名・姓) _____

検査データ:

身長: _____ cm 体重: _____ kg

血圧: 収縮期圧 _____ mmHg 拡張期圧 _____ mmHg

採血データ:

HbA1c _____ %

75g OGTT(_____年 _____月 施行)

	血糖値	インシュリン値
空腹時	_____ mg/dl	_____ μ U/ml
*30 分値	_____ mg/dl	_____ μ U/ml
*60 分値	_____ mg/dl	_____ μ U/ml
120 分値	_____ mg/dl	_____ μ U/ml

*30 分、60 分値は測定可能な場合

血清クレアチニン _____ mg/dl 総コレステロール _____ mg/dl

トリグリセライド _____ mg/dl HDL コレステロール _____ mg/dl

BNP _____ pg/ml

心機能評価:

心臓超音波 (200_____年 _____月 _____日 施行)

Dd/Ds = _____ / _____ mm

E / A 比 _____ Dct _____ ms

*EF _____ % (超音波・RI・カテーテル検査・MRI)

*EF は、評価可能な場合のみ記載

心臓超音波検査の場合 Simpson 法を推奨



臨床研究支援センター

〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町 1-4-1-9F

TEL: 06-6836-0077 FAX: 06-6836-5211 HP: <http://www.csscj.com>



ABC Study ケースカードⅢ (2) (2年時)

ABC No. A _____ イニシャル (名・姓) _____ . _____

心血管事故・糖尿病薬変更等のイベント：

あり (未記入の場合、イベントカードをご記入下さい) なし

投薬内容

ボグリボース 0.6mg/day 変更 _____ mg/day (理由：消化器症状 その他 _____)
 内服コンプライアンス (平均服用率：患者様への問診より、推定してください)
 100-80% 80-60% 60-40% 40-20% 20%以下

糖尿病関係追加薬剤： アマリール オイグルコン (ダオニール) グリミクロン
その他： _____ 投与量 _____ mg

ACE： インヒベース エースコール コバシル タナトリル レニベース
プレラン その他： _____ 投与量 _____ mg

ARB： ディオバン ニューロタン プロプレス オルメテック ミカルディス
 投与量 _____ mg

抗高脂血症薬： メバロチン リピトール リポバス ローコール ベザトール
その他： _____ 投与量 _____ mg

Ca blocker: アダラート カルブロック コニール ノルバスク ヘルベッサー
その他： _____ 投与量 _____ mg

β blocker: アーチスト ケルロング セレクトール セロケン メインテート
その他： _____ 投与量 _____ mg

利尿剤： アルダクトンA ダイアート ラシックス ルブラック その他： _____
 投与量 _____ mg _____ mg _____ mg _____ mg _____ mg

抗血小板薬： バイアスピリン バファリン パナルジン プレタール その他： _____
 投与量 _____ mg _____ mg _____ mg _____ mg _____ mg

抗凝固薬： ワーファリン 投与量 _____ mg

血管拡張薬： アイトロール ニトロール ニトロダーム フランドル
その他： _____ 投与量 _____ mg

抗潰瘍薬： ガスター ザンタック タケプロン
その他： _____ 投与量 _____ mg

アデノシン増強薬： ペルサンチン 投与量 _____ mg

K_{ATP} チャンネル開口薬： シグマート 投与量 _____ mg

その他の投薬：(心血管病薬以外も)



臨床研究支援センター

〒 560-0082 大阪府豊中市新千里東町 1-4-1-9F

TEL : 06-6836-0077 FAX : 06-6836-5211 HP: <http://www.csscj.com>



ABC Study ケースカードIV (3年時)

ABC No. A _____ イニシャル (名・姓) _____ . _____

心血管事故・糖尿病薬変更等のイベント:

あり (未記入の場合、イベントカードをご記入下さい) なし

投薬内容

ボグリボース 0.6mg/day 変更 _____ mg/day (理由: 消化器症状 その他 _____)
内服コンプライアンス (平均服用率: 患者様への問診より、推定してください)
 100-80% 80-60% 60-40% 40-20% 20%以下

糖尿病関係追加薬剤: アマリール オイグルコン (ダオニール) グリミクロン
その他: _____ 投与量 _____ mg

ACE: インヒベース エースコール コバシル タナトリル レニベース
プレラン その他: _____ 投与量 _____ mg

ARB: ディオバン ニューロタン プロプレス オルメテック ミカルディス
投与量 _____ mg

抗高脂血症薬: メバロチン リピトール リポバス ローコール ベザトール
その他: _____ 投与量 _____ mg

Ca blocker: アダラート カルブロック コニール ノルバスク ヘルベッサ
その他: _____ 投与量 _____ mg

β blocker: アーチスト ケルロング セレクトール セロケン メインテート
その他: _____ 投与量 _____ mg

利尿剤: アルダクトンA ダイアート ラシックス ルブラック その他: _____
投与量 _____ mg _____ mg _____ mg _____ mg

抗血小板薬: バイアスピリン バファリン パナルジン プレタール その他: _____
投与量 _____ mg _____ mg _____ mg _____ mg

抗凝固薬: ワーファリン 投与量 _____ mg

血管拡張薬: アイトロール ニトロール ニトロダーム フランドル
その他: _____ 投与量 _____ mg

抗潰瘍薬: ガスター ザンタック タケブロン
その他: _____ 投与量 _____ mg

アデノシン増強薬: ペルサンチン 投与量 _____ mg

K_{ATP} チャンネル開口薬: シグマート 投与量 _____ mg

その他の投薬: (心血管病薬以外も)



臨床研究支援センター

〒 560-0082 大阪府豊中市新千里東町 1-4-1-9F

TEL: 06-6836-0077 FAX: 06-6836-5211 HP: <http://www.csscj.com>

ABC Study ケースカードV (4年時)

ABC No. A _____ イニシャル (名・姓) _____ .

心血管事故・糖尿病薬変更等のイベント:

あり (未記入の場合、イベントカードをご記入下さい) なし

投薬内容

ボグリボース 0.6mg/day 変更 _____ mg/day (理由: 消化器症状 その他 _____)
 内服コンプライアンス (平均服用率: 患者様への問診より、推定してください)
 100-80% 80-60% 60-40% 40-20% 20%以下

糖尿病関係追加薬剤: アマリール オイグルコン (ダオニール) グリミクロン
 その他: _____ 投与量 _____ mg

ACE: インヒベース エースコール コバシル タナトリル レニベース
 プレラン その他: _____ 投与量 _____ mg

ARB: ディオバン ニューロタン プロプレス オルメテック ミカルディス
 投与量 _____ mg

抗高脂血症薬: メバロチン リピトール リポバス ローコール ベザトール
 その他: _____ 投与量 _____ mg

Ca blocker: アダラート カルブロック コニール ノルバスク ヘルベッサー
 その他: _____ 投与量 _____ mg

β blocker: アーチスト ケルロング セレクトール セロケン メインテート
 その他: _____ 投与量 _____ mg

利尿剤: アルダクトンA ダイアート ラシックス ルブラック その他: _____
 投与量 _____ mg _____ mg _____ mg _____ mg _____ mg

抗血小板薬: バイアスピリン バファリン パナルジン プレタール その他: _____
 投与量 _____ mg _____ mg _____ mg _____ mg _____ mg

抗凝固薬: ワーファリン 投与量 _____ mg

血管拡張薬: アイトロール ニトロール ニトロダーム フランドル
 その他: _____ 投与量 _____ mg

抗潰瘍薬: ガスター ザンタック タケプロン
 その他: _____ 投与量 _____ mg

アデノシン増強薬: ペルサンチン 投与量 _____ mg

K_{ATP} チャンネル開口薬: シグマート 投与量 _____ mg

その他の投薬: (心血管病薬以外も)



臨床研究支援センター

〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町 1-4-1-9F

TEL: 06-6836-0077 FAX: 06-6836-5211 HP: <http://www.csscj.com>



ABC Study ケースカードVI (5年時)

ABC No. A _____ イニシャル (名・姓) _____

心血管事故・糖尿病薬変更等のイベント：

あり (未記入の場合、イベントカードをご記入下さい) なし

投薬内容

ボグリボース 0.6mg/day 変更 _____ mg/day (理由：消化器症状 その他 _____)
内服コンプライアンス (平均服用率：患者様への問診より、推定してください)
 100-80% 80-60% 60-40% 40-20% 20%以下

糖尿病関係追加薬剤：
 アマリール オイグルコン (ダオニール) グリミクロン
 その他： _____ 投与量 _____ mg

ACE：
 インヒベース エースコール コバシル タナトリル レニベース
 プレラン その他： _____ 投与量 _____ mg

ARB：
 ディオバン ニューロタン プロプレス オルメテック ミカルデイス
投与量 _____ mg

抗高脂血症薬：
 メバロチン リピトール リポバス ローコール ベザトール
 その他： _____ 投与量 _____ mg

Ca blocker：
 アダラート カルブロック コニール ノルバスク ヘルベッサー
 その他： _____ 投与量 _____ mg

β blocker：
 アーチスト ケルロング セレクトール セロケン メインテート
 その他： _____ 投与量 _____ mg

利尿剤：
 アルダクトンA ダイアート ラシックス ルブラック その他： _____
投与量 _____ mg _____ mg _____ mg _____ mg _____ mg

抗血小板薬：
 バイアスピリン バファリン パナルジン プレタール その他： _____
投与量 _____ mg _____ mg _____ mg _____ mg _____ mg

抗凝固薬：
 ワーファリン 投与量 _____ mg

血管拡張薬：
 アイトロール ニトロール ニトロダーム フランドル
 その他： _____ 投与量 _____ mg

抗潰瘍薬：
 ガスター ザンタック タケプロン
 その他： _____ 投与量 _____ mg

アデノシン増強薬：
 ペルサンチン 投与量 _____ mg

K_{ATP} チャンネル開口薬：
 シグマート 投与量 _____ mg

その他の投薬：(心血管病薬以外も)



臨床研究支援センター

〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町1-4-1-9F

TEL: 06-6836-0077 FAX: 06-6836-5211 HP: <http://www.csscj.com>

ABC Study ケースカードⅦ (6年時)

ABC No. A _____ イニシャル (名・姓) _____

心血管事故・糖尿病薬変更等のイベント：

あり (未記入の場合、イベントカードをご記入下さい) なし

投薬内容

ボグリボース 0.6mg/day 変更 _____ mg/day (理由：消化器症状 その他 _____)
 内服コンプライアンス (平均服用率：患者様への問診より、推定してください)
 100-80% 80-60% 60-40% 40-20% 20%以下

糖尿病関係追加薬剤： アマリール オイグルコン (ダオニール) グリミクロン
その他： _____ 投与量 _____ mg

ACE： インヒベース エースコール コバシル タナトリル レニベース
プレラン その他： _____ 投与量 _____ mg

ARB： ディオバン ニューロタン プロプレス オルメテック ミカルディス
 投与量 _____ mg

抗高脂血症薬： メバロチン リピトール リポバス ローコール ベザトール
その他： _____ 投与量 _____ mg

Ca blocker: アダラート カルブロック コニール ノルバスク ヘルベッサー
その他： _____ 投与量 _____ mg

β blocker: アーチスト ケルロング セレクトール セロケン メインテート
その他： _____ 投与量 _____ mg

利尿剤： アルダクトンA ダイアート ラシックス ルブラック その他： _____
 投与量 _____ mg _____ mg _____ mg _____ mg _____ mg

抗血小板薬： バイアスピリン バファリン パナルジン プレタール その他： _____
 投与量 _____ mg _____ mg _____ mg _____ mg _____ mg

抗凝固薬： ワーファリン 投与量 _____ mg

血管拡張薬： アイトロール ニトロール ニトロダーム フランドル
その他： _____ 投与量 _____ mg

抗潰瘍薬： ガスター ザンタック タケプロン
その他： _____ 投与量 _____ mg

アデノシン増強薬： ペルサンチン 投与量 _____ mg

K_{ATP} チャンネル開口薬： シグマート 投与量 _____ mg

その他の投薬：(心血管病薬以外も)



臨床研究支援センター

〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町1-4-1-9F

TEL: 06-6836-0077 FAX: 06-6836-5211 HP: <http://www.csscj.com>

ABC Study イベントカード

ABC No. A _____ イニシャル (名・姓) _____

死亡、入院、糖尿病薬の追加、腎機能の悪化のイベントが発生した際、記載して下さい
(複数イベントがあった場合はイベント毎にカードをご記入下さい。)

死亡 (20 ____年 ____月 ____日)

- 心臓死 (心筋梗塞 心不全 不整脈 その他 _____)
- その他の死因
- 脳血管障害 (脳梗塞 脳出血 くも膜下出血)
- 大血管障害 (大動脈瘤破裂 大動脈解離)
- その他 (病名: _____)

死亡経過の詳細 _____

入院 (20 ____年 ____月 ____日)

- 虚血性心疾患 (心筋梗塞 (非致死性) 不安定狭心症 安定狭心症)
- 病変: 新規病変 再狭窄病変
- 治療法: PTCA (ステント) CABG その他の手術 薬物療法のみ
- 心不全
- その他の心臓血管イベントによる入院
- 脳血管障害 (TIA以外) (脳梗塞 脳出血 くも膜下出血)
- 閉塞性動脈硬化症
- その他 (病名: _____)

入院経過の詳細 _____

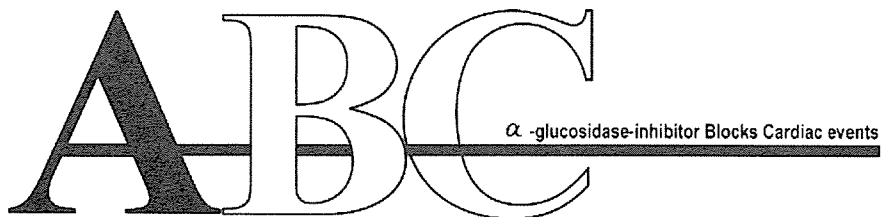
糖尿病薬の追加

- 有り (____年 ____月 理由: HbA1c ____%)
- 追加薬剤名 _____ 投与量 _____

腎機能の悪化

- 有り (____年 ____月 理由: 血清クレアチニン ____mg/dl)

上記の内容を速やかにご登録下さい <http://www.csscj.com> 又は FAX: 06-6836-5211



臨床研究支援センター

〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町 1-4-1-9F

TEL: 06-6836-0077 FAX: 06-6836-5211 HP: <http://www.csscj.com>

ABC Study 中止報告書

ABC No. A _____ イニシャル (名・姓) _____ . _____

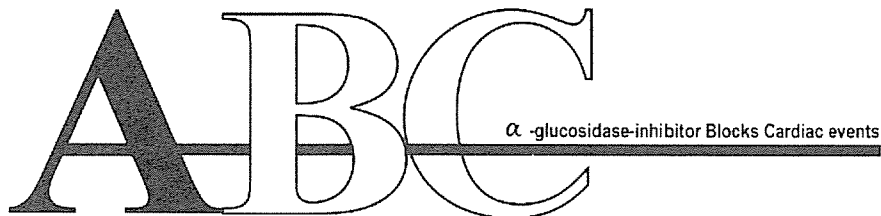
登録病院名 _____ 登録医師名 _____

中止理由

- 患者様側より、辞退の申し入れ
- 今までの登録データ抹消を希望
 - 今後のデータ登録を希望しない (これまでのデータ登録は了承)
- 医療側による、薬剤投与の中止
- 有害事象の発生により、薬剤の継続投与困難
 - 肝機能障害 (トランスアミラーゼが正常上限の 2.5 倍以上)
 - 低血糖発作
 - 他の有害事象: _____
 - その他: _____

状況をお教え下さい。

上記の内容を速やかにご登録下さい <http://www.csscj.com> 又は FAX : 06-6836-5211



臨床研究支援センター

〒 560-0082 大阪府豊中市新千里東町 1-4-1-9F

TEL : 06-6836-0077 FAX : 06-6836-5211 HP: <http://www.csscj.com>

研究成果の刊行に関する一覧表

(業績一覧)

課題名 : 食後血糖上昇の抑制による心筋梗塞二次予防に関する大規模薬剤介入臨床研究
(若手医師・協力者活用に要する研究)

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻名	頁	出版年
Komamura. K(2人略4番目), Kim. J(11人略16番目), <u>Kitakaze M.</u>	Heart-type fatty acid binding protein is a novel prognostic marker in patients with non-ischemic dilated cardiomyopathy.	Heart	92	615-618	2006
Maruo. T, Nakatani S (3人略6番目) <u>Kitakaze M.</u> , (以下2人略)	Circadian variation of endothelial function in idiopathic dilated cardiomyopathy.	Am J Cardiol	97	699-702	2006
Saeki.M (10人略12番目) <u>Kitakaze M.</u> , Tomoike, H (以下13人略)	Haplotype Structures of the <i>UGT1A</i> Gene Complex in a Japanese Population.	Pharmacogenomics J	6(1)	63-75	2006
Hirata.A (13人略15番目) <u>Kitakaze M.</u> , Hori.M	Erythropoietin enhances neovascularization of ischemic myocardium and improves left ventricular dysfunction after myocardial infarction in dogs.	J Am Coll Cardiol	48(1)	176-184	2006
Tsukamoto.O (13人略15番目) Hori.M, <u>Kitakaze M.</u>	Depression of proteasome activities during the progression of cardiac dysfunction in pressure-overloaded heart of mice.	Biochem Biophys Res Commun	340	1125-1133	2006

Tsukamoto.O (10 人略 12 番目) Tomoike.H, Hori.M, Kitakaze M.	The antagonism of aldosterone receptor prevents the development of hypertensive heart failure induced by chronic inhibition of nitric oxide synthesis in rats.	Cardiovasc Drugs Ther	20(2)	93-102	2006
Okazaki.H (2 人略 4 番目)Kim.J,(5 人略 8 番目) Kitakaze M.	Angiotensin II type 1 receptor blocker prevents atrial structural remodeling in rats with hypertension by chronic nitric oxide inhibition.	Hypertensio n Res	29	277-284	2006
Liao.Y (5 人略 7 番目)Kim.J, Fujita.M, Hori.M, Kitakaze M.	Control of plasma glucose with alpha-glucosidase inhibitor attenuates oxidative stress and slows the progression of heart failure in mice.	Cardiovas Res	707	107-116	2006
Asanuma.H (2 人略 4 番目),Kim.J, (10 人略 15 番目)Tomoike.H, Kitakaze M.	Blockade of histamine H ₂ receptors protects the heart against ischemia and reperfusion injury in dogs.	J Mol Cell Cardiol	40(5)	666-674	2006
Kubota.D (5 人略 7 番目) Kitakaze M. (最終略)	Tricyclic pharmacophore-based molecules as novel Integrin avb3 antagonists. IV. Preliminary control of avb3 selectivity by meta-oriented substitution.	Bioorganic Medicinal Chemistry	14	4158-4181	2006
Takahama.H (13 人略 15 番目) Kitakaze M.	Granulocyte colony-stimulating factor mediates cardioprotection against ischemia/reperfusion injury via phosphatidylinositol-3-kinase/Akt pathway in canine hearts.	Cardiovasc Drugs Ther	20(3)	159-165	2006

Iwahashi.M (4 人略 last author) <u>Kitakaze M.</u>	Acute improvement in myocardial function assessed by myocardial strain and strain rate after aortic valve replacement for aortic stenosis.	Journal of the American Society of Echocardiography	19	1238-1244	2006
Kotake.T (4 人略 6 番目) <u>Kitakaze M.</u> (最終略)	Heart failure elevates serum levels of cibenzoline in arrhythmic patients.	Circ J	70(5)	588-592	2006
Shintani.Y (10 人略 12 番目) <u>Kitakaze M.</u> ,Hori.M.	Glycosaminoglycan modification of Neuropilin-1 modulates VEGFR2 signaling.	EMBO Journal	25	3045-3055	2006
Kim.J (7 人略 9 番目) Kitamura.S, Tomoike.H, <u>Kitakaze M.</u>	Impact of blockade of histamine H ₂ receptors on chronic heart failure revealed by retrospective and prospective randomized studies.	J Am Coll Cardiol	48(7)	1378-1384	2006
Fujita.M(7 人省略 9 番目) Tomoike.H, <u>Kitakaze M.</u>	Blockade of angiotensin II receptors reduces the expression of receptors for advanced glycation end products in human endothelial cells.	Arteriosclerosis, Thrombosis, and Vascular Biology	26(10)	e138-e142	2006
Kanzaki.H (4 人略 6 番目) <u>Kitakaze M.</u>	Impaired systolic torsion in dilated cardiomyopathy: Reversal of apical rotation at mid-systole characterized with magnetic resonance tagging method.	Basic Res Cardiol	101(6)	465-70	2006
Kim.J (7 人略 9 番目)Tomoike.H , <u>Kitakaze M.</u>	Abnormal glucose tolerance contributes to the progression of chronic heart failure in patients with dilated cardiomyopathy.	Hypertension Res(in press)			

Fujita.M, Asanuma.H, Kim.J (4 人略 8 番 目)Hori.M,(2 人略 11 番目 <u>Kitakaze M.</u>	Impaired glucose tolerance: A possible contributor to left ventricular hypertrophy and diastolic dysfunction.	Internatinal J Cardiol			2006
Soyama.A (7 人略 9 番目) <u>Kitakaze M.</u> Tomoike.H, (以下 2 人略).	Sequence-based analysis of the <i>CYP2D6*36-CYP2D6*10</i> tandem-type arrangement, a major <i>CYP2D6*10</i> haplotype in the Japanese population.	Drug Metab Pharmacoki net	21(3)	208-16	2006
Sai.k(9 人略 11 人目) <u>Kitakaze M.</u> Tomoike.H,(以下 13 人略)	Genetic variations and haplotype structures of the ABCB1 gene in a Japanese population: an expanded haplotype block covering the distal promoter region, and associated ethnic differences.	Ann Hum Genet	70(Pt 5)	605-62 2	2006
Wakeno.M,(10 人略 12 人目)Kim.J (1 人 略 14 番目) <u>Kitakaze M.</u>	Chronic stimulation of adenosine A2b receptors begun after myocardial iInfarction prevents cardiac remodeling in rats.	Circulation	114(8)	1923-1 932	2006
Kinugawa.T (7 人略 9 番目) <u>Kitakaze M.</u>	Catabolism of adenine nucleotides favors adenosine production following exercise in patients with chronic heart failure.	Journal of Cardiac Failure	12(9)	720-72 5	2006
Mizuta.E (11 人略 13 番目) <u>Kitakaze M.</u> (以下 3 人略).	Delayed Onset of Beating and Decreased Expression of T-type Ca ²⁺ Channel in Mouse ES Cell-Derived Cardiocytes Carrying Human Chromosome 21.	Biochem Biophys Res Commun	351(1)	126-13 2	2006

Hirata A, <u>Tomoike H</u> (13 人省略 15 番目), Hori M, <u>Kitakaze M</u> .	Erythropoietin just before reperfusion reduces both lethal arrhythmias and infarct size via the phosphatidylinositol-3 kinase-dependent pathway in canine hearts.	Cardiovasc Drugs Ther	19(1)	33-40	2005
Liao Y, <u>Tomoike H</u> (6 人省略 8 番目), Hori M, <u>Kitakaze M</u> .	Amlodipine ameliorates myocardial hypertrophy by inhibiting EGFR phosphorylation.	Biochem Biophys Res Commun	327(4)	1083-7	2005
Liao Y, <u>Tomoike H</u> (6 人省略 8 番目), Hori M, <u>Kitakaze M</u> .	Benidipine, a long-acting calcium channel blocker, inhibits cardiac remodeling in pressure-overloaded mice.	Cardiovasc Res	65(4)	879-88	2005
Li Y, <u>Kitakaze M</u> (13 人省略 last author).	Ablation of MEK kinase 1 suppresses intimal hyperplasia by impairing smooth muscle cell migration and urokinase plasminogen activator expression in a mouse blood-flow cessation model.	Circulation	111(13)	1672-8	2005
Fujita M, <u>Kitakaze M</u> (12 人省略 last author).	Aldosterone nongenomically worsens ischemia via protein kinase C-dependent pathways in hypoperfused canine hearts.	Hypertensio n	46(1)	113-7	2005
Liao Y, <u>Kitakaze M</u> (8 人省略 last author).	Exacerbation of heart failure in adiponectin-deficient mice due to impaired regulation of AMPK and glucose metabolism.	Cardiovasc Res	67(4)	705-13	2005
Asanuma H, <u>Kim J</u> (3 人省略 5 番目), <u>Tomoike H</u> (6 人省略 12 番目), <u>Kitakaze M</u> .	A calcium channel blocker amlodipine increases coronary blood flow via both adenosine- and NO-dependent mechanisms in ischemic hearts.	J Mol Cell Cardiol	39(4)	605-14	2005
Tsukamoto O, Asanuma H, <u>Kim J</u> , <u>Tomoike H</u> (7 人省略 11 番目), <u>Kitakaze</u>	A role of opening of mitochondrial ATP-sensitive potassium channels in the infarct size-limiting effect of ischemic preconditioning via activation of protein	Biochem Biophys Res Commun	338(3)	1460-6	2005

<u>M.</u>	kinase C in the canine heart.				
Komamura K, Sasaki T, Hanatani A, <u>Kim J</u> , <u>Kitakaze M</u> , (10 人省略 last author).	Heart-type fatty acid binding protein is a novel prognostic marker in patients with non-ischemic dilated cardiomyopathy.	Heart.(in press).			
Tsukamoto O, <u>Kitakaze M</u> (14 人省略 last author).	Depression of proteasome activities during the progression of cardiac dysfunction in pressure-overloaded heart of mice.	Biochem Biophys Res Commun	340(4)	1125-33	2006
Maruo T, Nakatani S, Kanzaki H, Kakuchi H, <u>Yamagishi M</u> , <u>Kitakaze M</u> , Ohe T, Miyatake K.	Circadian variation of endothelial function in idiopathic dilated cardiomyopathy.	Am J Cardiol	97(5)	699-702	2006
Saeki M(6 人省略 8 番目), <u>Kitakaze M</u> . (以下 7 人省略)	Three novel single nucleotide polymorphisms in UGT1A9.	Drug Metabolism and Pharmacokinetics	18(2)	146-149	2004
Koyano S(7 人省略 9 番目) <u>Kitakaze M</u> , (以下 5 人省略)	Functional characterization of four naturally occurring variants of human pregnane X receptor (PXR): one variant causes dramatic loss of both DNA binding activity and the transactivation of the CYP3A4 promoter/enhancer region.	Drug Metab Dispos	32(1)	149-154	2004
Murayama N (6 人省略 8 番目) <u>Kitakaze M</u> , (以下 12 人省略)	Six novel nonsynonymous CYP1A2 gene polymorphisms: Catalytic activities of the naturally occurring variant enzymes.	Journal of Pharmacology and Experimental Therapeutics	308(1)	300-306	2004

Ogita H(8 人省略 10 番 目),Hori M, <u>Kitakaze M.</u>	Raloxifene prevents cardiac hypertrophy and dysfunction in pressure-overloaded mice.	Hypertension	43(2)	237-242	2004
Fukushima-Uesaka H(10 人省略 12 番 目), <u>Kitakaze M.</u> (以下 19 人省略)	Haplotypes of CYP3A4 and their close linkage with CYP3A5 haplotypes in Japanese population.	Human Mutation (Online)	23(1)	100	2004
Asakura M (4 人省略 6 番 目), <u>Kitakaze M.</u> ,J-WIND investigators.	Rationale and design of large-scale trial using ANP as an adjunct to percutaneous coronary intervention for ST-segment elevation acute myocardial infarction: Japan-Working groups of acute myocardial Infarction for the reduction of Necrotic Damage by ANP (J-WIND-ANP).	Circ J	68(2)	95-100	2004
Minamino T(4 人省略 6 番 目), <u>Kitakaze M.</u> ,J-WIND investigators.	Rationale and design of large-scale trial using nicorandil as an adjunct to percutaneous coronary intervention for ST-segment elevation acute myocardial infarction: Japan-Working groups of acute myocardial Infarction for the reduction of Necrotic Damage by a K-ATP channel opener (J-WIND-KATP)	Circ J	68(2)	101-106	2004
Asano Y(17 人省略 19 番 目), <u>Kitakaze M.</u> ,Hori M.	Lamr1 functional retroposon causes right ventricular dysplasia in mice.	Nature Genetics	36(2)	123-130	2004
Sai K(11 人省略 13 番 目), <u>Kitakaze M.</u> (以下 7 人省略)	UGT1A1 Haplotypes associated with reduced glucuronidation and increased serum bilirubin in irinotecan-administered Japanese patients with cancer.	Clinical Pharmacology and Therapeutics	75(6)	501-515	2004

Asanuma H(8 人省略 10 番目)Hori M, <u>Kitakaze M.</u>	Methotrexate and MX-68, a new derivative of methotrexate, limit infarct size via adenosine-dependent mechanisms in canine hearts.	J Cardiovasc Pharmacol	43(4)	574-579	2004
Kato Y, Kijima Y, <u>Kitakaze M</u> (以下 7 人省略)	Roles of systemic nitric oxide metabolites for human coronary circulation.	Cardiovasc Drugs Ther.	18(3)	189-195	2004
Asanuma H(15 人省略 17 番目),Hori M, <u>Kitakaze M.</u>	The b-adrenoceptor blocker, carvedilol provides cardioprotection via adenosine-dependent mechanism in ischemic canine hearts.	Circulation	109	2773-2779	2004
Sanada S(13 人省略 15 番目),Hori M, <u>Kitakaze M.</u>	Protein Kinase A as another mediator of ischemic preconditioning independent of protein kinase C.	Circulation	110	51-57	2004
Komamura K(7 人省略 9 番目), <u>Kitakaze M</u> , <u>Miyatake K.</u>	The role of a common TNNT2 polymorphism in cardiac hypertrophy.	J Hum Genet.	49	129-133	2004
Ogita H(7 人省略9番 目), <u>Kitakaze M.</u>	Raloxifene Improves Coronary Perfusion, Cardiac Contractility, and Myocardial Metabolism in the Ischemic Heart: Role of Phosphatidylinositol 3-Kinase/Akt Pathway.	Journal of Cardiovascular Pharmacology	43(6)	821-829	2004
Okada K(13 人省略 15 番目),Hori M, <u>Kitakaze M.</u>	Prolonged ER stress in hypertrophic and failing heart following aortic constriction: Possible contribution of ER Stress to cardiac myocyte apoptosis.	Circulation	110(6)	705-712	2004
Yasumura Y(5 人省略 7 番目), <u>Kitakaze M</u> (以下 20 人省略)	Rationale for the Use of Combination Angiotensin-Converting Enzyme Inhibitor and Angiotensin II Receptor Blocker Therapy in Heart Failure.	Circ J	68(4)	361-366	2004

Sanada S(13 人省略 15 番目),Hori M, <u>Kitakaze M.</u>	Optimal windows of statins on immediate infarct-limitation: 5'-Nucleotidase as another downstream of phosphatidylinositol-3 kinase.	Circulation	110(15)	2143-2149	2004
Fukushima-Uesaka H(5 人省略 7 番目), <u>Kitakaze M.</u> (以下 2 人省略)	Fourteen novel single nucleotide polymorphisms in the SLC22A2 gene encoding human organic cation transporter (OCT2).	Drug Metabolism and Pharmacokinetics (SNP Communication)	19(3)	SNP8(239)-SNP13(244)	2004
Liao Y(11 人省略 13 番目),Hori M, <u>Kitakaze M.</u>	A vasodilatory β -blocker, celiprolol, inhibits pressure overload-induced cardiac hypertrophy and prevents the transition to heart failure via NO-dependent mechanisms in mice.	Circulation	110(6)	692-699	2004
Saeki M(8 人省略 10 番目), <u>Kitakaze M.</u> , Saijo N.	Single Nucleotide Polymorphisms and Haplotype Frequencies of UGT2B4 and UGT2B7 in a Japanese Population.	Drug Metab Dispos		1048-1054	2004
Itoda M(7 人省略 9 番目), <u>Kitakaze M.</u> (以下 3 人省略).	Seven novel single nucleotide polymorphisms in the human SLC22A1 gene encoding organic cation transporter 1 (OCT1).	Drug Metabolism and Pharmacokinetics (SNP Communication)	19(4)	SNP14(308)-SNP18(312)	2004
Yoshioka J(3 人省略 5 番目), <u>Kitakaza M.</u> (以下 2 人省略).	Oestrogen increases myocardial blood flow in men: assessment by ^{13}N -ammonia positron emission tomography.	Nucl Med Commun.	25(6)	557-562	2004

Soyama A(7人省略9番目), <u>Kitakaze M</u> , (以下3人省略)	Novel nonsynonymous single nucleotide polymorphisms in CYP2D6.	Drug Metabolism and Pharmacokinetics (SNP Communication)	19(4)	SNP14 (313)-SNP18 (319)	2004
Fukushima-Uesaka H(9人省略11番目), <u>Kitakaze M</u> , (以下9人省略)	Genetic variation of the AHR gene encoding aryl hydrocarbon receptor in a Japanese population.	Drug Metabolism and Pharmacokinetics (SNP Communication)	19(4)	SNP26 (320)-SNP32 (326)	2004
Komamura K(9人省略11番目), <u>Kitakaze M</u> , (以下2人省略)	Treatment of dilated cardiomyopathy with electroporation of hepatocyte growth factor gene into skeletal muscle.	Hypertension	44(3)	365-371	2004
Shintani Y(14人省略16番目), Hori M, <u>Kitakaze M</u> .	Opening of Ca ²⁺ -activated K ⁺ channels is involved in ischemic preconditioning in canine hearts.	J Mol Cell Cardiol	37(6)	1213-1218	2004
Fujita M(10人省略12番目), Hori M, <u>Kitakaze M</u> .	Selective blockade of serotonin 5HT _{2A} receptor increases coronary blood flow via nitric oxide-dependent mechanism in hypoperfused canine hearts.	J Mol Cell Cardiol	37(6)	1219-1223	2004
Ikeda S(7人省略9番目), <u>Kitakaze M</u> , (以下省略17人)	Twenty-six novel single nucleotide polymorphisms and their frequencies of the NR1H3 (CAR) gene in a Japanese population.	Drug Metabolism and Pharmacokinetics (SNP Communication)	18(6)	413-418	2004

Nagaya N(6 人省略 8 番 目), <u>Kitakaze M</u> , (以下 2 人省略)	Effects of ghrelin administration on left ventricular function, exercise capacity and muscle wasting in patients with chronic heart failure.	Circulation	110(9)	3674-3 679	2004
Kim J(9 人省略 11 番 目),Tomoike H, <u>Kitakaze M</u> .	A novel approach, data mining method, for the identification of the effective drugs or combination of drugs to targeted endpoints. Application for chronic heart failure and proposal of new evidence-based medicine.	Cardiovasc Drugs Ther	18(6)	483-48 9	2004